

シルバー てんどう

2021 第58号
令和3年1月15日発行

編集発行/
公益社団法人天童市シルバー人材センター
〒994-0013 山形県天童市老野森二丁目6番3号
天童市総合福祉センター2階
電話 (023) 654-7388 FAX (023) 652-0213
ホームページ <https://webc.sjc.ne.jp/tendo/>
メールアドレス tendo@sjc.ne.jp

賀正



新たなシンボル「王手門」からの朝日

安全就業スローガン
慣れるほど
ひそむ油断が 事故を呼ぶ

目次

- 新年のごあいさつ 2
- 令和2年度事業実績 3
- 会員のたより 4~5
- わが町探訪 天童市再発見~芭蕉の句碑~ 6
- 発注者の皆様・お客様の声 7

天童市シルバー人材センター

検索

令和2年度 山形県シルバー人材センター連合会 安全標語「佳作」
郭北・駅西班 伊藤 恒一 会員



年頭のいあつわし

理事長 近藤 壽一

明けましておめでとうござ
います。
会員の皆様におかれまして
は、御家族の皆様共々、お健
やかに新年をお迎えのことと
お慶びを申し上げます。
そして旧年中は基本理念の
下、「安全は全てに優先する」
を合言葉に、安全就業に努め
ていただき感謝と御礼を申し
上げます。
シルバー人材センターは、
市民の皆様をはじめ、各事業

所、行政並びに関係諸機関の
御協力の下に運営されており
まして、日頃の御支援に感謝
を申し上げると共に、新年も
変わらぬ御厚情を賜りたいと
思います。
年々加速する高齢化社会に
あつて、65歳以上の高齢者人
口が3617万人に達し、総
人口に占める割合も28.7%と、
過去最高を更新しているとの
報道がなされました。
そして892万人の高齢者

が、何らかの仕事に就いて元
気に働いており、これも過去
最高を更新しているとのこと
です。
平均寿命も年々更新し、人
生100年時代の到来も遠い
未来の話ではありません。そ
れらを象徴するかのよう
に、
天童市においてもさまざま
分野で活躍されている高齢者
の姿を目にする機会が多く、
嬉しい限りでもあります。
これまで、「定年後は自分
の趣味に時間を費やし、悠々
自適に暮らす」が主流であり
ましたが、「人生100年時代
を間近にして、定年後も20
30年の時間を過ごせるとい
うことから、高齢者世代に対す

る捉え方も年々変化を帯びて
いるのも事実であります。
地域社会のニーズを把握
し、健康で生涯現役生活を目
指す高齢者の生きがいづく
り、そして地域の活力向上の
期待にこたえるのがシルバー人
材センターに与えられた役割
であり、課題でもあります。
よって役員一同は、市民
の皆様と各事業所の信頼を礎
に、会員ひとり一人が自信と
誇りを持って就業に当たられ
るよう、更なる研鑽に努める
決意であります。
結びに、市民の皆様並びに
会員各位の益々の御活躍と、
御健勝を祈念して新年のあい
さつといたします。



新年のいあつわし

天童市長 山本 信治

新年あけましておめでとう
ございます。
天童市シルバー人材セン
ターの会員及び職員の皆様
におかれましては、健やかに新
年をお迎えしましたことを、心
からお慶び申し上げます。
昨年中は市政に対しまし
て、格別の御厚情を賜り、誠
にありがとうございます。
本市では、まちづくりの指

針となる第七次天童市総合計
画のもと、本市の将来都市像
である「笑顔 にぎわい し
あわせ実感 健康都市」の実
現を目指し、各種事業に取り
組んでおります。少子高齢化
社会、多発する自然災害に加
え、いまだ終息が見えないコ
ロナ禍によって、市民の生活
基盤や地域経済は多大な影響
を及ぼされ、社会全体が急激

に大きく変化している今日の
状況においては、市民、行政、
みんなが丸となり、本市の
英知を結集し全力を挙げてこ
の難局を乗り越え、未来へ夢
を描ける天童市にしていきたく
いと考えております。
貴センターにおかれまして
は、「自主・自立、共働・共
助」の基本理念の下、会員の
皆様の生きがいづくりや社会
参加の促進に尽力されるとと
もに、本市の福祉向上や地域
社会の活性化にも多大な貢献
をしていただいております。
また、このコロナ禍において

は、その影響を受けつつも、
前年同数の会員数を維持しな
がら、高齢者が生き生きと活
躍することができ、場を提供
していただいております。深く感
謝申し上げます。会員の皆様
には、これまで培ってこられ
た知識や経験を十分に生かし
ながら、健康に留意して活動
されますよう、よろしくお願
い申し上げます。
結びに、貴センターのます
ますの発展と会員及び職員の
皆様の御健勝を祈念して、新
年のあいさつといたします。

事業実績

— 令和2年度 —

今年度は新たに46名の仲間が加わり、会員数は令和2年11月末時点で男性347名、女性173名の合計520名となりました。また、会員の平均年齢は73.6歳となり、現代社会だけでなくシルバー会員においても高齢化が進んでいることが顕著になってきました。

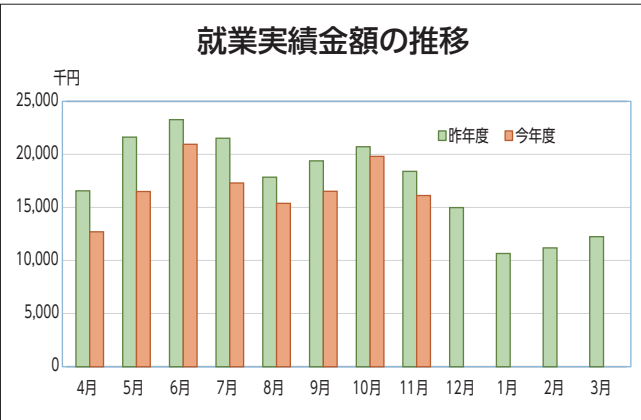
例年になく新入会員が多い年となりましたが、新型コロナウイルスの影響により、11月までの実績金額は前年同期の85%に落ち込んでいます。民間企業関係での屋内清掃や洗い場業務など業務の縮小や契約終了となる案件が多くみられ、その影響を大きく受けました。

しかし、除草作業や果樹農作業などの屋外での作業については、新型コロナウイルスの影響はほとんどなく、例年通りの受注がありました。会

員の中には、職種転換をしてサクランボのパック詰め作業に挑戦するなど、さまざまな場面で活躍する姿が見られました。

これからも引き続き、市民の皆様の要望にお応えできるように、会員の拡大および安全就業に努めていきたいと思

就業実績金額の推移



就業の様子



会場設営での消毒作業



毎年恒例の門松作り



雪囲い作業

令和2年度 安全就業推進大会

10月16日に、県内25のシルバー人材センターの会員および役員が集まり、安全就業推進大会が開催されました。コロナウイルス感染防止のため、例年よりも規模を縮小しての開催でしたが、安全就業に対する意識をさらに強めることができました。

毎年恒例の安全に関する標語の表彰では、当センター会員伊藤恒一さんの作品が佳作となり、表彰を受けました。



表彰を受ける伊藤さん (右から4人目)

会員のたより

賞状筆耕の仕事

会員 松山 一男

(駅東班)

サラリーマン時代に趣味で始めた書道、退職後のことなど全く考えもありませんでした。趣味として30数年やって、現在シルバー会員として賞状を書く仕事をしています。

始めた頃は、賞状を書く知識はなく、本屋に行っても参考となる本はありませんでした。趣味としては、展覧の作品造りばかりで、賞状書きは全然。やっとの思いで本を探し、その本に書いてあることと他の人が書いた賞状を見比べて、いろいろと勉強させてもらいました。

賞状筆耕は、字ひとつのバランス、行のバランス、そして全体のバランスを取り、やっとなりになります。また、

文章に特有の決まりがあるのも特徴です。

卒業証書では、読み方の難しい現代の子供の名前を書いてみたり、敬老会用賀詞では、「変体仮名」という字が出てくる名前を書いたりします。

他にも赤ちゃんの命名を書いたり、今ではめずらしく結納の目録の依頼もあります。

また、紙にばかりでなく、板に書く仕事の依頼があったりとさまざまな仕事を経験しています。

ぜひどなたでも挑戦して!!
古来の字書きに……。



働く喜びと生きがい

会員 鈴木 照子

(蔵増班)

シルバー人材センターに入会して早いもので、4年目に入りました。

私の仕事は、蔵増公民館の清掃と、黒田吉五郎商店でのふるさと納税返礼品の発送業務および伝票の整理です。

公民館の清掃は、週2回行います。使用予約のある部屋は、利用者が来る前に清掃を終わらせ、活動を妨げないように行っています。清掃をしていると、地区の方との触れ合いもあり、「いつもきれいにしてもらってね」と嬉しい言葉を掛けていただくこともあり、励みになっています。

黒田吉五郎商店では、数名の会員の仲間と一緒に楽しく働いております。

四季折々の果物がふるさと納税の返礼品として発送されます。皆様に満足のいくおいしい品物が届けられるように、



一品一品を真心こめてチェックをしながら、化粧箱に詰めています。責任感が伴う仕事ですが、達成感と生きがいを感じながら働いております。

これからも、健康に留意しながら、一生青春という気持ちでシルバー人材センターの会員として、心に残る人生ドラマを作りながら、楽しく働けたら最高の生きがいであり、喜びであります。

シルバーに入会して

会員 赤塚 清実

(津山班)

8月初旬に入会し、早5ヶ月が過ぎました。主に草取りや草刈りの仕事をしており、さまざまな仕事をしていると聞いておりましたが、私としては、特別な技術があるわけではないので、草取りや草刈りの仕事を希望しました。

先輩会員と共に草取りの仕事をしていきますが、最初はその精度の高さにびっくりしました。仕上がり具合がすばらしくきれいなのです。最近は、刈払機を使用している草刈りを始めましたが、これも先輩会員の仕事の出来映えに驚かされます。一人暮らしの高齢者からの依頼が多く、作業終了後に仕上がり具合を見てもらい感謝されることが大変うれしいです。

冬期間は、草取り・草刈り作業が休みとなっているため、

除雪作業や正月用の門松作りにも挑戦しております。今後、先輩会員の皆さんに出来るだけ近づけるように努力していきたいと思えますので、会員の皆さん今後共ご指導のほど、よろしくお願いいたします。



家事援助の仕事

会員 清野 友子

(成生班)

訪問介護を18年間経験した後に退職し、家の農作業を行っていましたが、空いている時間で今までの訪問介護の経験を活かし働ける所がないかと思っていました。そんな時に、シルバー人材センターでも家事援助の仕事があることを知り、4月に入会しました。

現在は、個人宅の屋内の清掃を2件担当しています。1回当たり1時間30分の仕事を合計で月6回行っています。単身、夫婦2人暮らしの高齢者宅なので、どちらのお宅

も掃除機かけや床拭きが大変そうです。訪問したら、まず今日特にやってほしいことを聞いてから仕事を行うようにしています。掃除が終わると、「きれいにしてもらって助かった」と言われることが多い、よかったですなあと思います。利用者の方ともコミュニケーションを取り、体調や室内に異変がないかなどを注意しながら、今後とも仕事を行っていきたいと思います。

新春詠

初写真撮り終へもとのマスクかな

会員 伊藤 寛二

(久野本2班)



介護のための家事援助スタッフ講習会の様子

1689年（元禄2年）初夏、紅花の咲く頃、松尾芭蕉は、尾花沢から天童を経由し、山寺立石寺へ向かい、名句「閑さや岩にしみ入蟬の聲」を詠んでいます。天童市内には芭蕉の句碑が24ヶ所あり、県内市町村の中では最も多くなっています。今回は舞鶴山周辺にある2ヶ所の句碑を巡ります。興味のある方はぜひ訪ねてみてください。

◆建勲神社社殿前句碑

「はらち中や
物にもつかず
啼く雲雀」

1857年（安政4年）に建立されました。裏面に催主、雪山、文陽、閑斎、雪江、油清の俳名が刻まれています。それと並んで「明治31年6月移立佐藤羽雪、設楽稚面」と刻ま

れており、現在の建勲

わが町探訪 第十一回 天童市再発見
～芭蕉の句碑～
市内の名所・旧跡、地域の話などを紹介します。

神社社殿前に移されました。この句碑は念仏寺境内（現在の翁塚）、あるいはその近くに建てられています。



◆翁塚

「翁塚」とは、晩年の芭蕉のことを芭蕉翁と言ったことから、芭蕉の塚を建てるときに翁だけつけて「翁塚」としました。翁塚は芭蕉の供養塔であり、俳諧修行のよりどころとして建立されています。

翁塚は、北目城山公園内（旧東村山郡役所

資料館の南）にあり、句碑が2基と翁塚が2基あります。

「古池や
蛙飛び込む水の音」

1758年（宝暦8年）天童で初めて芭蕉の句碑に刻まれたのがこの句です。天童の俳人菱華亭池青が、奥の細道行脚70年を記念して念仏寺の敷地内に建てたものです。この時の句碑は、上貫津の丸山氏庭にあります。現在の句碑は、1978年（昭和53年）7月11日に天童奥の細道研究会が建立したものです。その隣にある翁塚は、2日後の7月13日に天童落書き会が建立したものです。



「行く末は
誰が肌ふれむ紅の花」

1986年（昭和61年）7月13日天童奥の細道研究会によって建立されました。

文字は1827年（文政10年）俳人湖中等により刊行された「俳諧一葉集」のものを拡大して刻んだものです。句碑の隣の翁塚碑は、1760年（宝暦10年）に山形の俳人雨聲庵山皓が念仏寺を訪ね、「翁塚」を拝し、天童の俳人達と句会を行った紀行文「笠の連」の一部を碑面に記し、「翁塚」として建立したものです。



※わが町探訪の編集にあたり、長岡地域づくり委員会の協力をいただきました。

会員 佐久間 勉（東長岡班）

シルバー人材センターは、高齢者に適した臨時的かつ短期的又は軽易な仕事を受注し、登録している会員が働きます。

個人の方や会社・団体の方、どなたでも注文できます。(就業場所は天童市内に限ります。)

仕事を依頼するのに、会員登録や会費は必要ありません。

発注者の皆様

(シルバー人材センターに仕事を依頼したい方)

お申し込みから仕事の実施までの流れ

Step 1. お申し込み

まずは、お電話にてお申し込みください。☎023-654-7388

シルバー事務所への来所、電子メール (tendo@sjc.ne.jp) やシルバーしごとネット (https://shigoto.sjc.ne.jp/) でもお申し込みいただけます。

※シルバーしごとネットでの申し込みには、ユーザー登録が必要です。



Step 2. お見積り

お仕事の内容・条件等を伺い、契約方法 (請負できるか、労働者派遣が適当か) を検討し、料金の見積もりをします。同時に、就業できる会員がいるか探します。

Step 3. ご契約

シルバーが提示した見積金額や就業条件を、発注者様にご承諾くださると、契約成立となります。(労働者派遣のときは、山形県シルバー連合会との契約になります。)

高齢者に向かない仕事、就業できる会員がいないときは、お断りすることもあります。

Step 4. 就業 (仕事の実施)



契約に基づき、シルバー会員が業務を実施します。業務が完了したら、「就業報告書」の内容を確認して押印してください。会員は、発注者様より直接料金をいただくことはありません。

Step 5. ご請求・お支払い

シルバーより発注者様へ請求書をお送りします。料金は、シルバー指定の銀行・郵便局の口座へお振込み、もしくはコンビニでお支払いください。シルバーの事務所にお支払いいただくこともできます。(派遣料金は、山形県シルバー連合会にお支払いください。)

お客様の声

三和缶詰株式会社
天童工場 工場長 鹿野 悦克

弊社は、昭和32年に中山町で創業し果物の缶詰製造から始まりました。

こちら天童工場は昭和41年に新設され、当初は果物の缶詰製造をしていましたが、現在は、皆さんが知っているブランドメーカーの缶飲料 (一般缶・ボトル缶) やスパウトパウチ製品を製造しております。11年にわたり、天童市シルバー人材センターの方々にご協力いただいております。

業務内容は、①受付所での外来者対応と工場巡回、②工場設備の点検と重油の受入れの2つになります。いずれの業務も大変ですが、経験豊富なシルバー会員さんのお陰で、丁寧なお客様

対応・正確な確認作業で大変助かっております。

また、社員の顔も覚えていただいておりますので、防犯上でも向上していると思います。

これからも、シルバー人材センターの方々に協力をいただきながら、地域社会に貢献するとともに、安全で安心できる製品の提供に努めてまいります。



会員を募集しています ~入会説明会にどうぞ~

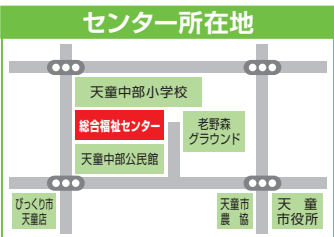
- ★天童市内にお住まいの**原則60歳以上の方**で、健康で働く意欲がありセンターの趣旨に賛同していただける方なら、どなたでも入会できます。
- ★入会説明会に参加し、入会申込書を事務局に提出してください。入会を承認後、入会決定通知を送付します。入会手続きの日に、会費を納めていただきます。
- ★会員の働き方には、「**請負・委任**」と「**労働者派遣**」があります。いずれも臨時的かつ短期的又は軽易な就業（月10日程度又は週20時間程度）です。
- ★入会しても、すぐに就業できるとは限りません。センターは、就業した対価として「**配分金**」を支払いますが、収入を保障することはできません。
- ★請負・委任の場合、センター又は発注者と雇用関係を持ちませんので、会員が協力し合って責任を持って業務を履行・完了していただきます。派遣の場合は、派遣先の指揮命令に従い働いていただきます。

入会説明会

と き
 2月 4日(木)
 3月11日(木)・23日(火)
 午前10時～
ところ 市総合福祉センター
 4月以降も月1回開催します。

会 費

初年度年会費
 4～9月入会 3,500円
 10～12月入会 2,500円
 1～3月入会 1,500円
 (翌年度からは3,000円)
会員互助会年会費 500円



【事務所】天童市老野森二丁目6-3
 市総合福祉センター2階

お問い合わせ
 お電話・FAX でのお問い合わせ
TEL 023-654-7388
FAX 023-652-0213
 メールでのお問い合わせ
tendo@sjc.ne.jp

シルバー人材センターをご利用ください!

◆ 会員が長年培った知識や技能を活かして、さまざまなお仕事をお引き受けいたします。

◆ 主なお仕事の紹介



技術・技能分野

植木剪定・雪囲い・消毒、障子・ぶすま張替など



一般作業分野

草取り・草刈り、果樹農作業、清掃作業など



管理分野

建物・スポーツ施設・駐車場管理、福祉施設宿直など



労働者派遣

指揮命令を伴う工場・店舗内の作業、自動車運転、学童保育補助など



サービス分野

家事援助、軽度生活援助（ごみ出し、掃除、買物、除雪）など



事務・外交分野

賞状・宛名書き、調査事務、広報紙配達など

ホームページをご覧ください。 <https://webc.sjc.ne.jp/tendo/>

賀詞 松山一男会員

広報委員会
 大泉 邦男 庄司 豊子
 瀧口 恵子 伊藤 寛二
 佐久間 勉

■ 昨年は「ウィズコロナ」の一年でした。今年も先が見えない、収束が見えない日々がまたまた続きそうです。

■ 感染拡大防止のため、シルバーでもさまざまな活動が中止となり、紙面に欠かれない活動の写真が少なく、今号の編集はこれまで以上に大変でした。

■ コロナ禍で読書人口が多くなったと聞きます。五十八号の頁をめくる方が多くなるのではと内心期待しているところではあります。

■ 会員同士の交流も疎遠になりがちです。元気な様子を知りたい、声を聴きたいとみなさんが思っているのではと、「会員のたより」の紙面を多くとりました。

■ 今はみんなが同じ状況・立場にあります。「お互い様」です。頑張りましょう。市民の皆様、そして会員の方々の御健康を心からお祈り申し上げます。

編集後記